

第77番札所 桑多山 明王院 道隆寺

— 霊験あらたかな「眼なおし薬師」と全国各地の観音様 —

本尊：薬師如来（秘仏）

所在地：香川県仲多度郡多度津町北鴨1-3-30

TEL：0877-32-3577

宿坊：なし



創建当初は、広大な桑園が広がっていたといわれている多度津町。縁起によると、奈良時代の712年に、この地方の領主であった和氣道隆が、桑の大木を切って小さな薬師如来像を彫造し、草堂を建てたのが始まり。その後の807年、道隆の子・朝祐は、唐から帰国した弘法大師に薬師如来像の彫造を懇願。弘法大師は90cmほどの薬師如来像を刻み、その中に父・道隆作の薬師如来像を納めたと伝わっています。

この薬師如来を熱心に信仰したのが、多度津藩の京極左馬造。幼少より盲目だった左馬造ですが、本尊の薬師如来に祈願したところ、全快したといわれ「道隆寺の眼なおし薬師様」として名を馳せるようになりました。また、薬師如来のご慈悲により目が見えるようになった左馬造は、以後、医学を学んで「眼病の達人」と呼ばれるようになり、左馬造の死後、「道隆寺」の潜徳院殿堂にまつられています。

またお寺の特徴として欠かせないのが、参道沿いから本堂脇、裏門にかけてずらりと並ぶ観音様。四国霊場はもちろん、西国三十三ヶ所や秩父三十四観音霊場など、全国の観音様が255体まつられています。その身を三十三身に変化して、悩み・苦しみをとり除き、あらゆる願いを叶えてくれる観音様。きっと今の自分を助け、支えてくれる観音様に出会えるはずです。

